


平成 27 年度

「障がい者（児）就労スキルアップ研修会」

事業報告書



平成 28 年 3 月

特定非営利活動法人福祉ネットこうえん会

はじめに

私共はこれまで、障がい者福祉の地域住民への啓発事業の一環として、日本財団の助成を受けて公開講座や研修会を実施してきており、昨年度は障がい者の就労定着を促進することをめざした「障がい者(児)就労スキルアップ研修会」として、全国8会場（仙台、福井、岡山、さいたま、和歌山、浜松、香川、福井）で開催しました。

27年度は、全国を3ブロック（西日本・中日本・東日本）に分けて開催することとし、各ブロックが抱える特色や課題を取り入れた研修内容とするため、地元の方に企画をお願いしました。

研修会は、「職場マナー等研修」「基調講演」「分科会」の3部構成とし、「職場マナー等研修」では障がい者を対象とした「職場マナー研修」、経営者、管理者あるいは職員等を対象とした「サービス向上研修」を実施しました。

また、「基調講演」は、前厚生労働事務次官の村木厚子様に「誰もが働ける社会の実現をめざす」と題し、雇用施策、福祉施策の両面から、障がいのある人が生き生き働ける社会の実現をめざして尽力された思いをご講演いただきました。

さらに、分科会では各ブロックの特性に合わせたテーマを設定し、障がい者の就労・雇用を支援する皆様方により、その取り組みや問題・課題についてお話ししていただきました。

本報告書では、各分科会の主な発言をとりまとめました。今後の就労支援にお役立て頂ければ幸いです。

最後に、本研修会にご支援ご協力いただきました関係者の方々、ご参加いただきました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

平成28年3月吉日

特定非営利活動法人
福祉ネットこうえん会
会長 林田恒正

目 次

I	障がい者（児）就労スキルアップ研修会	2
II	研修会の概要	
1	西日本ブロック（岡山会場）	3
2	中日本ブロック（浜松会場）	9
3	東日本ブロック（東京会場）	15
III	分科会の要約	
1	西日本ブロック（岡山会場）	
	第1分科会 農福連携の推進	21
	第2分科会 新規学卒者の就労支援	27
2	中日本ブロック（浜松会場）	
	第1分科会 福祉（介護）分野での就労	33
	第2分科会 仕事を創る	39
3	東日本ブロック（東京会場）	
	第1分科会 触法障がい者の支援	45
	第2分科会 生活困窮者の支援	51
IV	企画会議の開催状況	
1	西日本ブロック（岡山会場）	57
2	中日本ブロック（浜松会場）	58
3	東日本ブロック（東京会場）	59
V	平成27年度障がい者（児）就労スキルアップ研修会一覧	61

I 障がい者（児）就労スキルアップ研修会

1 趣 旨

障がい者が普通に地域で暮らし、地域の一員として共に生活できる社会を実現するためには、障がい者の就労をより一層推進することが必要です。このため、障がい者を支援する企業、労働、教育、福祉、保護者等の関係者が就労に関する知識と技量のスキルアップを図る研修会を開催し、より良い共生社会の実現を目指す。

2 助 成

日本財団

3 平成 27 年度の開催状況

(1) 西日本ブロック（岡山県岡山市）

平成 27 年 11 月 28 日（土） ◇職場マナー等研修

- ・ 職場マナー研修（障がい者対象）
- ・ サービス向上研修（経営者・管理者対象）

◇基調講演

◇研修会（第 1 分科会・第 2 分科会）

(2) 中日本ブロック（静岡県浜松市）

平成 28 年 1 月 29 日（金） ◇職場マナー等研修

- ・ 職場マナー研修（障がい者対象）
- ・ サービス向上研修（施設職員等対象）

◇基調講演

◇研修会（第 1 分科会・第 2 分科会）

(3) 東日本ブロック（東京都新宿区）


平成 28 年 3 月 2 日（水） ◇職場マナー等研修

- ・ 職場マナー研修（障がい者対象）
- ・ サービス向上研修（管理者・職員等対象）

◇基調講演

◇研修会（第 1 分科会・第 2 分科会）

西日本ブロック(岡山会場)

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

平成27年度障がい者(児) 就労スキルアップ研修会(西日本ブロック)

誰もが地域で安心して暮らせるために

1 **と き** 平成27年 11月28日(土)

2 **と ころ** 岡山国際ホテル 地階「丹頂の間」他
岡山県岡山市中区門田本町4-1-16

3 **日 程**

- ◆ 職場マナー等研修 10:00~11:30
 - ・ 職場マナー研修 (障がい者対象)
講 師 (一社) ワークワーク 理事 大宮 紀子 氏
 - ・ サービス向上研修 (経営者・管理者対象)
「今、障害者福祉事業経営者・管理者に求められるもの」
講 師 社会福祉法人クムレ 理事長 財前 民男 氏
 - 「第三者評価」について
講 師 社会福祉法人天神会 理事長 岡崎 利治 氏
- ◆ 基調講演 13:00~14:30
演題「誰もが働ける社会の実現をめざす」
講 師 前厚生労働事務次官 村木 厚子 氏
- ◆ 分科会 14:45~16:45
 - 第1分科会** テーマ「農福連携の推進」
~現状と課題、これからの展望~
講演・進行「農業分野での障がい者就労~全国各地での取り組み~」
農林水産省農林水産政策研究所 総括上席研究官 吉田 行郷 氏
 - 第2分科会** テーマ「新規学卒者の就労支援」
~これまでの取り組み、今後の取り組み~
進 行 (NPO) 就労継続支援A型事業所協議会 理事長 萩原 義文 氏

主 催 特定非営利活動法人 福祉ネットこうえん会
福井県福井市島寺町92-15 TEL 0776-98-4170

後 援 岡山県・岡山県教育委員会
社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
社会福祉法人 岡山市手をつなぐ育成会
NPO法人 就労継続支援A型事業所全国協議会
NPO法人 就労継続支援A型事業所協議会
社会福祉法人 旭川荘
社会福祉法人 山陽新聞社会事業団



歴史の重さを感じさせる偉容「岡山城」



市内のAネット協議会の事務局
NPOホープ就労・生活支援センター

● **職場マナー研修** (障がい者対象) (10:00～11:30)

講師: 一般社団法人ワークワーク 理事 **大宮 紀子** 氏



「職場マナー研修会」前の受付風景



講師と共にアシスタントも「礼」の良い見本! 参加者はそれを見ながら練習しました。



アシスタントが「悪い例の見本」を示してくれました。



熱心に聞き入る受講者・聴講者



講師の大宮先生、分かり易く楽しい研修でした。

● サービス向上研修 (経営者・管理者対象)(10:00～11:30)



講師：社会福祉法人 クムレ
理事長 財前 民男 氏
今、・・・事業経営者・管理者に求められるもの



講師：社会福祉法人 天神会
理事長 岡崎 利治 氏
第三者評価の手法で自主点検を。



(社福)山陽新聞社会事業団 専務理事
「働く広場」編集委員
阪本 文雄 氏
解説を交えながら、絶妙な話術で進行を
していただきました。



福祉をとりまく環境の変化。そこで生き抜くために
・・・・・・。話す方も、聞く方も力が入ります。

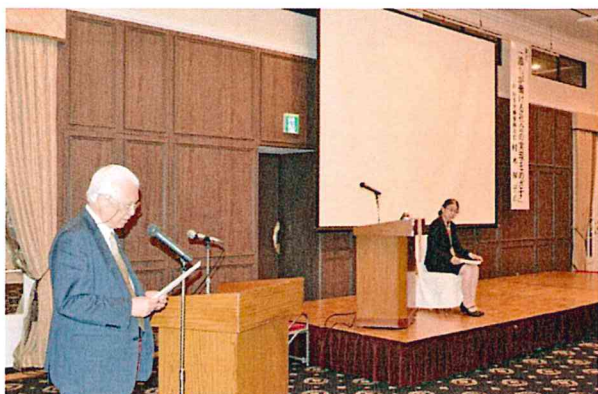
● 基調講演 (13:00～14:30)



基調講演受付風景



講師「村木厚子様」のご紹介



有限会社 C・ネットサービス
代表取締役 松永 正昭 氏



前 厚生労働事務次官 村木 厚子 氏
語り口は、非常に静かですが、内容は「物の本髄を突き」非常に厳しい一面も。



障がい者の自立をいかに進めるか、“なぜ”進めるのか、その思いが伝わってきました。



言葉の一つひとつに重みを感じさせるご講演でした。



約180名の参加者が、熱心に聴講しました。

● 第1分科会 (14:45～16:45)

テーマ「農福連携の推進」～現状と課題、これからの展望～

農業分野での障がい者就労～全国各地での取り組み～



講演・司会進行
農林水産省農林水産政策研究所
総括上席研究官 吉田 行郷 氏
外作業（農業）で障がい者が元気になる。特に精神障がいにおいては、症状の改善も期待できる。障がい者を単なる労働力の提供者から、農業の後継者への意識も大切。



- ・(株)ダックス四国福山工場 且田 久美 氏
- ・はーとふる川内(株) 西野 直樹 氏
(大塚製薬(株)特例子会社)
- ・(株)おおもり農園 大森 一弘 氏



且田氏からは、北海道の芽室町での障がい者の就労の場を作り上げたこと、そして「正しい障がい者雇用」を目指していることをお話いただきました。



「農福連携」のこのキーワードに集まった人たち



● 第2分科会 (14:45～16:45)

テーマ「新規学卒者の就労支援」～これまでの取り組み、今後の取り組み～



- ・ 岡山県教育庁特別支援教育課 **金島久美子** 氏
- ・ 岡山県立誕生寺支援学校 **佐藤一法** 氏
- ・ オカネツ工業(株) **森安英雄** 氏
- ・ 倉敷自閉症児・者家族会 **藤井明子** 氏
- このゆびと一まれ
- ・ (社福) 山陽新聞社会事業団 **阪本文雄** 氏



司会進行
(NPO) 就労継続支援A型事業所協議会
萩原 義文 氏



最初に、金島様から岡山県教育委員会の取り組みについてのお話がありました。



東京から**松矢勝宏**先生(東京学芸大学名誉教授)にもご参加いただきました。松矢先生からも、「地域のキャリア教育が生きる力をつけていく」とのお話がありました。



佐藤校長から、「職業コース」「生産コース」の活動の説明がありました。

中日本ブロック(浜松会場)

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

平成27年度障がい者(児) 就労スキルアップ研修会(中日本ブロック)

誰もが地域で安心して暮らせるために

- 1** **とき** 平成28年 1月29日(金)
- 2** **ところ** アクトシティ浜松コンgresセンター
静岡県浜松市中区板屋町111-1
- 3** **日程** ◆ **職場マナー等研修** 10:00~11:30
- ・職場マナー研修 (障がい者対象)
講師 (社福) ひかりの園 浜松協働学舎 根洗 泉 村上 由樹 氏
 - ・サービス向上研修 (施設職員等対象)
「福祉現場での合理的配慮について」
講師 (NPO) 静岡県作業所連合会・わ 理事長 高木 誠一 氏
 - 「事業所での安全衛生への取り組み」
発表 (有) C・ネットサービス (就労継続支援 A 型事業所)
- ◆ **基調講演** 13:00~14:30
演題 「誰もが働ける社会の実現をめざす」
講師 前厚生労働事務次官 村木 厚子 氏
- ◆ **分科会** 14:45~16:45
「多様な視点で“働く”を考える」
- 第1分科会** テーマ「福祉(介護)分野での就労」
進行 (社福) みどりの樹 多機能事業所ループ
管理者 海野 洋一郎 氏
- 第2分科会** テーマ「仕事を創る」
進行 (医) 至空会 多機能型事業所だんだん
管理者 金田 祥史 氏

主催 特定非営利活動法人 福祉ネットこうえん会
福井県福井市島寺町92-15 TEL 0776-98-4170

後援 静岡労働局
浜松市・浜松市教育委員会
社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会
NPO法人 就労継続支援A型事業所全国協議会
静岡新聞社・静岡放送



出世大名
家康くん



©浜松市

駅のホームから見る、静岡県で最も高いビル「アクトシティー浜松」。
外観はハーモニカをモチーフにしているとか！！

● **職場マナー研修** (障がい者対象) (10:00~11:30)

講師：社会福祉法人ひかりの園 浜松協働学舎 根洗寮 **村上 由樹 氏**



スーツを着て、一段と気が引き締まる。



村上先生の丁寧な話し方で、少し気分もほぐれてきました。



まずは、一人ずつ前へ出て“自己紹介”



緊張したけど、ちゃんと発表できました。この経験が、職場で生かされる！



お辞儀は、日常の場合、そして相手により15°・30°・45°、背筋をピンと伸ばすのが基本！！



日ごろ・支援されている職員の方も、熱心に聴講。参加出来なかった利用者にも、教えていきたい、大変勉強になったと言っておられました。

● サービス向上研修(施設職員等対象)(10:00～11:30)
「福祉現場での合理的配慮について」



講師：NPO法人 静岡県作業所連合会・わ
理事長 高木 誠一 氏



主催者：福祉ネットこうえん会
林田会長のあいさつ

今春施行される「障害者差別解消法」についての、事前勉強会となりました。
「合理的配慮の義務」言葉は難しいが、各職場で真に障がい者の身になって考えて・・・と高木誠一氏

「事業所での安全衛生への取組み」



講師：有限会社C・ネットサービス
事業計画推進室 品質・安全管理主任 大橋 嘉夫 氏



福井県にある(有)C・ネットサービスの取り組み、写真等の掲示物による「見える化」で障がい者に作業指導。障がい者が働き易くするための合理的配慮の実施例を発表。
(地元、福井県で優良事業場表彰を受賞されました)



開講前の混雑する受付
多くの地元の方々にお手伝いいただきました。

● 基調講演 (13:00～14:30)

「誰もが働ける社会の実現をめざす」

講師：村木 厚子氏 前厚生労働事務次官



“障がい者雇用の仕事に初めて就いたとき、ある社長さんの「会社は、従業員の良いところを見つけることを考えており、障がいのある人の場合も同じでは。」という言葉に救われました。”



いつもながらの静かな口調。制度を知り尽くした豊富な経験と知識による講演に、約150名の聴講者は盛んにメモを取りながら聴き入っていました。

分科会 「多様な視点で“働く”を考える」

● 第1分科会 (14:45～16:45)

テーマ：「福祉(介護)分野での就労」

進行：社会福祉法人みどりの樹
多機能事業所ループ
管理者 海野 洋一郎 氏



- ・ 特定非営利活動法人六星 ウイズ蛭塚
- ・ 社会福祉法人 十字の園
- ・ 社会福祉法人 悠泰の郷 神田ふるさと庵
- ・ 株式会社 アイケア

施設長 古橋 友則 氏
理事長 平井 章 氏
施設長 遠山 秀敏 氏
経営推進事業部長 須田 亘 氏



介護現場で障がい者が就労している「十字の園」の平井様から、実践報告もあり「支援員に“力”が有れば充分可能であり、障がい者就労の新たな分野として期待できる」と皆様の共通認識でした。

● 第2分科会 (14:45～16:45)

テーマ: 「仕事を創る」



第2分科会会場



進行: 医療法人社団至空会
多機能型事業所だんだん
管理者 金田 祥史 氏



- ・ 一般社団法人 静岡県社会就労センター協議会 理事長 三谷 末光 氏
- ・ しずおか障害者就労支援ネットワーク・浜松 代表 山野 由香 氏
- ・ 社会福祉法人 復泉会 KuRuMiX 施設長 永井 忍 氏
- ・ 株式会社 ソミック石川 総務部人事総務室主事 大石 徹 氏
- ・ 浜松市健康福祉部障害保健福祉課 医療・就労支援グループ長 浅野 豪 氏



A型やB型の福祉的就労として区別されながら、やっている仕事は企業並み（又は企業以上）そんな復泉会様の取り組みや、ソミック石川様の工場生産の中での、障がい者の雇用の現状など、これから企業との連携が大きなポイントだという感じを受けました。

東日本ブロック(東京会場)



Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

平成27年度障がい者(児) 就労スキルアップ研修会(東日本ブロック)

誰もが地域で安心して暮らせるために

- 1** **とき** 平成28年3月2日(水)
- 2** **ところ** 戸山サンライズ 全国障害者総合福祉センター
東京都新宿区戸山1丁目22番1号
- 3** **日程** ◆ **職場マナー等研修** 10:00~11:30
- ・職場マナー研修 (障がい者対象)
講師 (一社) ワークワーク 理事 大宮 紀子 氏
 - ・サービス向上研修 (管理者・職員等対象)
「ストレスマネジメント」~質の高いサービスを提供するために~
講師 中央労働災害防止協会 健康快適推進部
研修支援センター所長 三替 明 氏
- 「事業所での安全衛生への取り組み」
発表 (有)C・ネットサービス (就労継続支援A型事業所)
- ◆ **基調講演** 13:00~14:30
演題 「誰もが働ける社会の実現をめざす」
講師 前厚生労働事務次官 村木 厚子 氏
- ◆ **分科会** 14:45~16:45
- 第1分科会** テーマ 「触法障がい者の支援」
コーディネーター (公社)全国シルバー人材センター事業協会 専務理事
共生社会を創る愛の基金 顧問 村木 太郎 氏
- 第2分科会** テーマ 「生活困窮者の支援」
コーディネーター ルーテル学院大学 教授 和田 敏明 氏
- 主催** 特定非営利活動法人 福祉ネットこうえん会
福井県福井市島寺町92-15 TEL 0776-98-4170
- 後援** 公益社団法人 全国重度障害者雇用事業所協会
一般社団法人 障害者雇用企業支援協会
東京中小企業家同友会
特定非営利活動法人 就労継続支援A型事業所全国協議会

● **職場マナー研修**(障がい者対象)(10:00～11:30)

講師：一般社団法人 ワークワーク 理事 大宮 紀子 氏



大宮先生のマナー研修は、どこの会場でも大人気。障がい者23人の方々に参加していただきました。



手話通訳さん、今回初めての試みでしたが、これも「合理的配慮」の一つ



ワークワークさんの利用者の方々も「アシスタント」として登場（最前列）



まずは参加者の皆さんの自己紹介からです。聴講希望の支援者など、会場いっぱいの人たちの前で、緊張したけど発表出来ました。

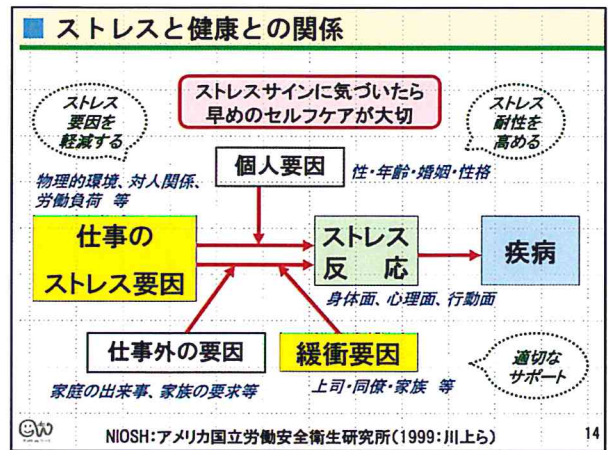


受講後にお土産の「福井のクッキー」を参加者に配りました。習ったとおり「お礼のあいさつ」ができましたか？

● サービス向上研修(施設職員等対象)(10:00～11:30)

「ストレスマネジメント」～質の高いサービスを提供するために～

講師：中央労働災害防止協会健康快適推進部 三觜 明 氏



良好な職場環境こそ、不調の未然防止策。相手の話を聞くことは、コミュニケーションのカギ！自分自身のセルフケアを忘れないこと。

「事業所での安全衛生への取組み」

発表：有限会社 C・ネットサービス
事業計画推進室 品質・安全管理主任 大橋 嘉夫 氏



作業手順の徹底した見える化により、仕事の高効率化を図り、障がいを持つ方を職場の主役に育てる取り組みの実践報告。

(今年度、福井県の産業安全衛生大会で事業所が表彰されました。)

来年度は、「家庭も職場も災害ゼロの仕組みと仕掛け」をテーマにさらに改善を続けます。

● 基調講演 (13:00～14:30)

「誰もが働ける社会の実現をめざす」

講師：村木 厚子氏 前厚生労働事務次官



福祉ネットこうえん会 林田会長のあいさつ。
今回で、通算50回目の研修になり、関係者の方々に深く感謝。



会場は満席状態、聞く方も福祉の専門家。
難しい専門的な話にも、自然とうなずきながら聴き入っておられました。



「できないこと」に目を奪われすぎないで
「できること」を活かすのが良い支援者。



「基調講演」会場も、ほぼ満席でした。



ここでも手話通訳さんが大活躍。
派遣の東京聴覚障害者福祉事業協会
東京手話通訳等派遣センター様
ありがとうございました。

● 第1分科会 (14:45～16:45)

テーマ： 「触法障がい者の支援」

- ・ 触法障がい者の支援を進める上で大切なこと
- ・ 困っていること、特に足りない支援や仕組みについて
- ・ 福祉施設における受け入れについて

コーディネーター

(公社)全国シルバー人材センター事業協会専務理事
共生社会を創る愛の基金 顧問
村木 太郎 氏



この10年間で、やっと支援の仕組みが出来てきました。



埼玉福興(株) 代表取締役 **新井 利昌 氏**
ソーシャルファームをめざし、H15, 16年頃からは農業分野で仕事を創っている。再犯を繰り返すケースも多々あるが、生活が出来る場所があって、次のステップに持って行くのが就労支援ではないかと考える。



長崎県地域生活定着支援センター 所長 **伊豆丸 剛史 氏**
障がいのある人も同じように社会のメンバー。再犯期間が2ヶ月から3ヶ月に延びたケースも、これをよし(成功)とするような大きな視点でかかわり続けることが大切。



法務省さいたま保護観察所
保護観察官 **坂根 真理 氏**
26年度から5名の保護観察官からなる福祉支援班でチームを作り、生活定着支援センターと協働で支援を行っている。



「触法の方を受け入れることに不安を感じる」という率直な思いも。



● **第2分科会** (14:45～16:45)

テーマ： 「生活困窮者の支援」

コーディネーター:ルーテル学院大学 教授
和田 敏明 氏



社会的な孤立状態でありながら、仕事だけがうまくいくということはない。地域づくりが重要。障がい関係で取り組んできたように支援付き就労の仕組みを社会全体で創っていくことが大切。



厚生労働省社会・援護局生活困窮者自立支援室
室長 **本後 健 氏**
・制度の意味と内容、進捗状況について



大阪地域職業訓練センター A ワーク創造館
就労支援室長 **西岡 正次 氏**
・この制度による就労支援の取組の特徴
新たな仕事開発への取り組み



(社福)生活クラブ風の村 **池田 徹 氏**
・制度の意義 社会参加、就労、中間的就労
への取組、可能性



グリーンコープ連合 **行岡 みち子 氏**
・家計相談支援の特徴と内容 支援の事例
本人に考えてもらう。(本人に気づいてもらう)



自治体が主体となり、地場産業を含めた、社会全体で就労の場を作ることが重要(企業も安心できる)身近な所で気軽に行ける地域づくりが必要。と会場からの質問に答えていただきました。